

【 第21回 女子ジュニア世界選手権 】

2018年6月29日～7月15日 開催地:ハンガリー

試合結果報告

7 月 4 日 (水)

JPN	VS	DEN(デンマーク)
9	前半	17
14	後半	16
23	合計	33

個人得点

名前		前半	後半	合計
3	高木 奈央		1	1
4	辻野 桃佳			0
26	榎 和奏			0
27	松浦 志織			0
28	並木 梨紗	3		3
29	大松澤 彩夏			0
31	鈴木 姫らら		3	3
32	金城 ありさ			0
33	安藤 かよこ		1	1
34	南 夏津美		2	2
35	中山 佳穂	1	2	3
36	相澤 菜月	4	1	5
37	舟久保 朱音			0
39	笠井 千香子	1	2	3
40	笠 泉里		2	2
41	金山 桃歌			0
42	尾辻 素乃子			0
51	吉留 有紀			0
		9	14	23

戦評

2戦目はデンマークと対戦。最初の得点はデンマーク。デンマーク伝統のワイドポジション+速いパス回しからミドルで得点をあげる。対する日本は、最初から7人攻撃を展開。センター相澤がキレのあるフェイントで相手をノータッチで抜き去り1得点目をあげる。その後、速攻や7人攻撃で中山、相澤、並木が得点をあげ、一進一退の攻防が続く。前半10分5-6から、日本はデンマークの力強いロングを防げず、3連続失点を許す。前半15分5-9となったところで日本はタイムアウトを要求。タイムアウト明け、引き続き日本は7人攻撃を行うが、デンマークはDFシステムを6-0から5-1に変更。日本はうまく攻めきれず、得点が伸びない。対するデンマークは、ロングを確率よく決めきり、17-9とリードを広げて前半を終える。

後半も日本の7人攻撃に対し、デンマークは5-1を継続。攻撃の導入を変化させた日本はノーマークのチャンスを作っていく。日本ペースになりかけるものの、要所で相手GKにシュートを阻まれ、ペースをつかみきれない。対するデンマークは力強いロングや、歩幅の広いカットインに加え、サイドを要所で決めきり追隨を許さない。日本は、途中出場の鈴木積極的なロング、カットイン、高木のロング、南のポスト、笠のカットインで意地を見せるが、追撃及ばず23-33で敗戦となった。

報告記入者 :

新井翔太